



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 75 名 出席 50 名 出席率 73.53% 前回出席率 83.82% 修正出席 64 名 確定出席率 94.12%

温海 R.C 会長・幹事挨拶

今野 義介 君

先ほど会長から紹介いただきましたが、この度温海 R.C の会長として努めさせていただきます今野義介でございます。常日頃は本当に鶴岡クラブの皆さん方には色々とお世話になっております。

又、私共当クラブとしましては尽力しておりますが、なんせまだ生まれて16才になったばかりのクラブでございます。たしかチャーターナイトは小池さんが会長されていた時、それに石黒さんが特別代表として我々を手とり足とり育ててくれまして、ここに至った様なクラブでございますので、本当に当クラブは未熟なクラブではございますが、皆さんの御協力と御指導を賜りましてますます成長していきたいと考えているところでございます。今後ともよろしくお願い致します。

五十嵐 清 君

同じく温海 R.C の今年の幹事になりました五十嵐清と申します。日頃は親クラブでございます鶴岡クラブのお世話になりまして大変ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。又、昨日は会長・幹事さん表敬訪問いただきまして本当にありがとうございます。心からお礼申し上げます。

只今私共会長が御挨拶を致しましたのですが、私共の会長公家の出で、歯がまだ生えそろわなくて思

う事の十分の一位しか話をしなかったのではないかと思いますので、私海賊の生まれですので一言いわせていただきます。

昨日、鶴岡クラブの会長さんが私共のクラブに来られまして、鶴岡のクラブは非常に大きいのですが、緊縮財政で大変ですと、ですからぜひ温海の皆様方鶴岡のクラブにメイクをしていただきたい。鶴岡を助けていただきたい。そんな御挨拶されましたので、随分ユニークな会長だなあと感心しておりました。ぜひ私からは、私実は入会して1年少々で幹事をさせられまして何もわからない訳です。それこそ皆様方より手とり足とり御指導していただかないとやっていけない状態なものですから、この若い会員が幹事をしなければならないことは、いかに私より先輩が沢山いるかという事なんですね。緊縮財政どころか温海の場合は会員が減りまして大変な状態にあります。そんな事で会計が大変ですので、先ほど鶴岡の会長さんが言っておられました様に、温海は畳でやる例会でございます。足を伸しても良い例会です。そんなリラックスした例会をしておりますので、ぜひ鶴岡の会員の皆様方も温海の方に沢山メイクをしに来て頂きたいと思います。山海の珍味で食事をとって頂きたいと思いますので、温海のクラブもよろしくお願い致します。

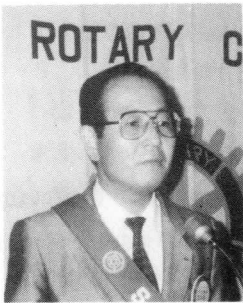
今年一年よろしくお願い致します。

庄内空港の建設を推進しましょう

旅と交通公社の歴史

富田孝一君

旅とは



旅にはさまざまな顔があります。新婚旅行に家族旅行、職場旅行に修学旅行。そして、ひとり旅というのもあります。楽しい旅ばかりでなく悲しみを忘れるための旅や、新しい自分を発見する旅もあります。

こうしてみると、旅の楽しさは、日常生活から離れて新しい何かとの出会いを見つけることだといえるかもしれません。

知らない土地で出会う自然も、人びとも、旅をする人の心に暖かな気持ちを呼びさましてくれます。旅の感動と喜びをもたらしてくれる旅の存在は、私達の生活の中に、なくてはならないものとして定着しています。旅は、人びとの幸福と生き甲斐を演出する重要な役割を果たしているのです。

交通公社は、旅をしようとするお客様によりよい機会を提供し、旅の楽しさを存分に味わっていただくために、各種の業務を行っています。

交通公社は、創業以来70余年もの間、旅を通してお客様と結ばれてきました。そして今、私たちは、「旅と生き、文化を創る」という意気込みで、仕事と取り組んでいます。

日本人と旅の変遷を社の歴史と共にふりかえってみることにしましょう。

物の本によりますと旅の歴史は3000年ほど昔まで遡るとされています。

旅行業成立以前

平安時代末期 旅の情報を提供し、宿や足の案内をした旅行業の原型「熊野の先達」。彼らは混乱した末世的思想の中で心の平穏を求める人びとを遠い熊野室町時代中期 の現地まで案内した。

江戸時代 宿屋の主人でもある「伊勢の御師」は、諸国をめぐる直接顧客を勧誘し、伊勢参宮をすすめた。

庶民も地域ごとに「講」を起こし、「道中記」や「名所図会」といった旅行案内を手にし、道標を頼りに旅をした。

明治時代 鎖国が終わり、明治維新を迎えると、多くの留学生や使節団が欧米に出かける一方、技術援助や観光などの目的で入国する外国人も増えてきた。こうした外客を接待するために、「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」の前身といわれている貴賓会(WELCOME SOCIETY)が設立された。同会は英文の案内記や地図の発行、日本紹介や外客接待を主たる業務とし、その経費は会社の会費と寄付金によって賄われた。

明治45年 官・財界の有志により「ジャパン・ツーリスト・ビューロー」が設立された。その目的は外客の誘致によって日露戦後の外貨不足解消の一助とし、また、日本の国情を多くの外国人に見てもらおうことによって世界平和に清しようということであった。その設立日3月12日は社創業記念日である。

昭和24年 優先外貨制度が発足し、日本人の海外旅行の道が開けた。

昭和27年 旅客の保護と旅行斡旋事業の健全化を図るため「旅行斡旋業法」を制定した。

昭和38年 株式会社日本交通公社創立

戦後における旅行市場の推移

1. 昭和30年代

戦後の復興期を終えた日本経済の発展に伴い、30年代は所得の増大に支えられて生活に余裕が生じた国民の間で旅行志向が高まりました。

30年の周遊券旅行を中心とする個人旅行は旅行者全体からみると、はるかに少なく、旅行はまだ団体・慰安旅行が大勢の時代でした。

2. 昭和40年代

東京オリンピックが終わって40年代に入り、日本経済はいよいよ本格的な高度成長期を迎えました。41～45年度までの実質経済成長率は5年間連続して2桁台を示し、国民所得は大幅に伸びました。消費支出に占めるレジャー関連の割合は増大しました。

なかでも、旅行はきわだった上昇傾向を示し、国内旅行はもとより海外旅行さえも身近なものになってきました。これに伴い輸送機関・宿泊施設は質量ともめざましく整備されていきました。

3. 昭和40年代後半

45年の大阪の万国博を契機として、40年代後半はディスカバー・ジャパン・キャンペーンを背景に「アンノン族」の若い女性にも象徴されるように、全国民に“旅行ぐせ”が植え付けられました。旅行需要の対前年の伸びは15%～18%を示し、名実ともに大衆旅行時代が到来しました。旅行が国民生活の一部となり、「衣・食・住・旅」として定着してきました。

これまでの団体・慰安中心の旅行から家族・小グループによる個人を中心とした旅行にかわっていきました。社は、国内旅行で企画型商品「エース」の発売を開始し、海外旅行も社の「ルック」発売に続き大手各社を中心にホール・セール商品出そろいました。

また、旅行業界には新規参入旅行者が相次ぎ、販売競争が激化してきました。

4. 昭和50年代

48年と54年の第1次及び第2次オイル・ショックにより、わが国経済の高度成長は終わり、50年代に入って安定成長となってきました。

旅行市場も年平均増率は6.4%（54～58年度）と低下したものの、旅行は日常生活の中に完全に定着しています。今や国内旅行は成熟市場期に入り、海外旅行は400万人時代を迎えています。一方、消費者意識は堅実なものとなり、旅行においては、金銭消費型から時間消費型レジャーへの移行、自然回機・スポーツ志向、DO IT YOURSELF志向、価格面における2極分化傾向が顕著となり、多様化してきています。また、社会情勢国際情勢の変化などが旅行業界に与える影響も強く、景気低迷下の売り込み競争は一段と激化してきています。

旅行業界の概要

59年1年間の旅行需要は、一泊以上の消費額で8兆8,580億円、日帰り旅行の消費額ではおおよそ2兆740億円と推定されます。

一方、旅行者の59年の取扱額は4兆2,199億円（対前年比108%）なので、旅行者の取り扱いシェアは38.6%ということになります。

このような取扱額の構成に対して、59年度の旅行者の登録数は一般旅行業485社、国内旅行業5,046社、旅行代理店業1,768社なので、大手による寡占的な業界であることがうかがわれます。

最近の傾向としては、社や日本旅行のように旅行業を本業とするよりも、異業種からの業界参入が著しくなっています。なかでも、“モノ離れ”に危機感をもつ流通業界からの参入、企業グループによる旅行代理店設立（いわゆるハウスエージェント）などの動きが注目され、キャリアの直販体制の強化とあいまって、競争も複雑かつ激化の様相を呈しています。また、消費者保護政策と関連して、58年には主催旅行の特別補償制度を含む改正旅行業法が施行されています。

会長報告

山口篤之助 君

涼し過ぎる日や、うっとうしい日や不安定な毎日のお天気です。北九州方面を始め西日本では豪雨のため、かなりの被害が出てる様でございます。心よ

りお見舞い申し上げます。

去る7月3日交通事故に遭われました新穂光一郎さんが、右腕はご不自由の様子ですが、以外に元気で例会に出席されました。まづは軽傷な様で不幸中の幸いでした。

1. 先週金曜日の11日に幹事の松田さんと西クラブへ就任のご挨拶に行きまして。その日丁度クラブ協議会が行れると云う事で、30分程で例会が終了しました。
2. 昨日月曜日に温海クラブへも就任のご挨拶に幹事さんと行きまして。定刻3分前に全員起立でリラックス体操を行ってから点鐘で、肩の凝りをほぐしてから例会でした。又、座席は、S.A.Aの委員の方がネームプレートを適当な席へ置き、会員は自分の場所を探して着席するので、大変ユニークなやり方だったようでした。
3. 地区年次大会が10月11日・12日に米沢市民文化会館で行われます。案内状を只今回覧していますが、仮登録が7月25日迄となっておりますので、多数の会員のご参加をお願い申し上げます。地区からは17名以上の参加の要請が参っています。義務出席は理事・役員の方々を始め、入会2年未満の会員の方々です。他、多勢のご出席を事務局迄お申出をお願い致します。尚、登録料10,000円と交通費はクラブで負担致します。
4. 伊藤久美さんよりのお手紙をご紹介します。

会長さん、だんだん日差しの強くなっている今日のごろ、いかがおすごでしょうか？
私は今フロリダにきています。毎日毎日天気がよくって、もうまっ黒になってしまいました。海の水はきれいなグリーンで、砂なんかはまっ白で、サングラスなしでは目をやられそうです。道の名前もゆかいでオレンジSTとかパイナップルAVEなどよりどりです。
それでは又お便りします。

Kumi Itoh

幹事報告

松田士郎君

- 会報の到着→村上R.C、酒田東R.C
- 第254地区年次大会
 - 日時 10月18日(土)・19日(日)
 - 場所 弘前市民会館
 - 登録料 15,000円

- 新会員の推せんに関する氏名発表
清水二郎氏 鶴岡工業高等専門学校校長

委員会報告

職業奉仕委員会

庄司嘉男君

職業奉仕委員会の委員長を仰せつかせられました庄司でございます。まだ入会して5年、満5年ということでもまだまだ勉強が足りない訳でございますが、幸いこの委員会には大先輩の富樫良吉さん、佐藤友吉さん、吉野勲さんがおりますので、この方々の御指導を得ながらこの一年間を務めたいと思います。よろしくご指導をお願い致します。

尚、今年度の事業と致しましては、

- 職業奉仕強調デーを設定し、優良事業者の職業スピーチを実施する。
- 雇用の関係を良くするため、会員の経営理念と実践方策等を例会で発表してもらい、会員相互の参考とする。
- 会員事業所の見学会を実施する。

基本的には四つのテストを目標としまして、これを基本とした職業奉仕四つの反省というものがございます。これを忠実に実践出来る様なムードづくり等を私なりに解釈しまして、皆様の御協力を得て実施をしまいたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ロータリー財団委員会

手塚拓君

今日はロータリー財団協力の日です。1\$=175円。よろしくお願い致します。

スマイル

加藤賢君 山形県営業写真家写真コンテストに121点中4位に入賞したので。

ビジター

- 温海R.C 今野義介君
- 五十嵐清君
- 鶴岡西R.C 阿部光男君
- 佐藤拓君